



あたたかい医療をみんなの手で

Human

“きみつだより”

NO.78 平成26年7月15日発行
編集責任者 大崎 慎一
編集者 “HUMAN”編集委員会

玄々堂 君津病院 〒299-1144 君津市東坂田4-7-20 ☎0439-52-2366(代) URL http://www.gengendo.jp/

新院長就任 池田重雄

院長

新体制スタート

去る3月25日(火)に開催された当法人の理事会で承認され、4月1日付けで池田重雄新院長が就任した。

今年は昭和49年の開設から40周年となる節目の年で、新体制となり「一人一人の患者さまを大切に、良質で安心なぬくもりのある医療を提供する」という理念のもと、地域に根ざした病院づくりを行ってゆか。

尚、前院長の永島嘉嗣先生は、名誉院長として引き続き診療を行ってゆく。
今回の人事に続き、6月1日付で玄々堂木更津クリニック院長に住吉義光副院長が就任した。



院長就任にあたり

院長 池田重雄

平成26年4月1日より玄々堂君津病院の院長に就任致しました。

「古い権威を捨て、患者さまの身になって、できる限りの最善の医療、大学病院や癌センター等にも負けない内容の医療を、病院職員一人丸となつて、一人一人の患者さまに提供する姿勢」は私の院長就任後も全く変わりありません。職員の皆様どうかよろしくお願い致します。



私は、平成3年に東京大学医学部を卒業後、東京大学医学部附属病院、河北総合病院、癌研究会附属病院、茨城県立中央病院・地域がんセンターの外科領域で、食道癌・

胃腸・大腸癌・肝臓癌・膵臓癌などの消化器癌、乳癌の診断や手術、抗がん剤治療を行ってきました。30代途中、学位取得後は留学する機会を得て、米国のテネシ大学、ウイスコンシン大学でボスドクとして外科の侵襲と栄養の関連について動物を用いた基礎研究と、ICUでの重症患者の予後を改善する栄養療法についての臨床研究に従事して来ました。動物を用いた基礎研究では、小さな研究室ではありますが、研究のチームリーダーとして何人かの米国人の仲間と意見を交わして、実験の指揮をとっていました。日本に帰国後は、癌研究会附属病院、茨城県立中央病院・地域がんセンターで中堅スタッフとして、若手外科医と共に外科手術、抗がん剤治療等に邁進する日々を送り、その後大

学で臨床と研究を続ける道もあつたのですが、父であり仕事の先輩でもある、池田貞雄先生から、今までに得た医療知識と技術を、地域の患者さまのために役立ててはどうかとの勧めがあり、9年前から関連施設である神奈川県の南大和病院で仕事をしております。今回、君津病院院長を拝命することとなり、今まで以上に研鑽を

積み、地域の皆様に役立てるよう努力するつもりであります。当院は、設立以来地域の皆様へ急性期医療の提供を中心として発展してきました。当院の柱である腎臓病疾患に対する保存期、透析導入さらにシャントトラブルや下肢の血管内治療への対応、そして腎移植、また腹膜透析や在宅血液透析等の末期腎不全の治療のバリエーションと、スタッフの充実ぶりは大学医学部附属病院に匹敵するレベルと自負しております。昨今の地方での医師不足の現状では、地方大学附属病院よりも充実したスタッフと体制ではないかと思えます。大崎副院長を中心としたこの体制を、病院部門、木更津クリニック、坂田クリニックでもさらに発展、充実させて患者さまへの提供サービスを向上させようと思

います。また、荻野副院長を中心とした、糖尿病内分泌治療の領域でも、患者数の増加が見込まれます。医師・看護師・栄養士・検査技師を含めたチームで研鑽を続け、南房総地域でのリーダ的チームを目指して、欲しいと思えます。もう一つ当院の診療部の柱でもあります、泌尿器科診療、消化器病診療におきましても、今までの以上のレベルの診療体制の充実、また消化器内視鏡検査、消化器手術におきましても、さらなる充実を今年の目標に上げていと考えております。具体的には、当院での治療可能な疾患におきましては、大学病院、癌センターと同等の治療を提供すること。残念ながら当院での治療が不可能な疾患については、近隣の施設との密接な連携を図りながら治療させていただくように努めたいと思っております。その他の疾患につきましても、当院での初期診断、そして迅速な治療が実施されますように、今までの以上に診療部の充実と、近隣施設との連携を充実させて行きたいと考えて

まちの保健室

5月17日(土) イオンモール木更津において、千葉県看護協会主催の「まちの保健室」が開催され、当院から2名の看護師が参加した。5月12日の「看護の日」にちなんで毎年開催されているイベントのひとつで、看護週間にあたるこの日

でおります。今後迎えます超高齢化社会の到来を前に、前述の急性期医療を柱にしながらも、治療が終了した患者さまの在宅復帰支援、さらには在宅復帰支援施設等のサービスの充実を今後の目標のひとつにしたいと考えております。これを実現するには、医師・看護師リハビリスタッフ、MSW等のメデイカルスタッフの充実と共に、ハード面でも院内のリハビリ施設の改良、改築が必要と考えており、人員の充実と増員を図り、地域の皆様へ提供するサービスの拡充を図りたいと考えております。このために今年度は、病院内外での診療体制の変更、施設の工事等が昨年度より若干多くなる可能性があります。どうかお許し頂きたいと思

います。最後に、玄々堂君津病院グループは、入院・外来部門、総合腎臓病センター、そして玄々堂木更津クリニック、坂田クリニック、君津訪問看護ステーションで構成され、そこには様々な職種の職員が、患者さまのために「この気持ちを持って働いております。自分にとつての仕事は、今後も慢心せず、絶え間なく自己革新しながら正しい医療を地道に実践していくこと、さらにはこの様々な部署の職員が、横のつながりを持ち、楽しくかつ最大限に力を発揮でき、それが来院される患者さまへ提供される医療サービスに最大限活かされるように努力していくことではないかと考えております。

国保特定健康診査・後期高齢者健康診査

平成26年度4市(君津市・富津市・木更津市・袖ヶ浦市)の特定健康診査、後期高齢者健康診査が始まりました。当院では予約制となっておりますので、事前に予約を取ってから来院をお願いします。

予約受付番号 **0439-52-2366**

予約受付時間 9:00~16:00

健診当日持参するもの

- 健康保険証
- 健康診査受診券・質問票
- 当院の診察券(お持ちの方のみ)

健診当日は、朝食(午後受診する場合は昼食)を摂らずに来院してください。

結果をお伝えする日も予約制となります。

検査を受けた際に、結果を聞きに来ていただく日にちを健診担当者からご案内いたしますのでご都合の良い日にちをお知らせください。

糖尿病教室開催

4月26日(土) 新館大会議室において第107回糖尿病教室が開催された。

荻野良郎副院長による「さらに進んだ糖尿病治療薬」の講義をはじめ、糖尿病療養指導士の資格を持った看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士が講義を行った。中尾薫看護師が「自分の足をケアしましょう」、渥美安菜利師が「新しい糖尿病治療薬の効果」といった内容で講義を行った。また今



は、君津・木更津地域の医療機関に勤務する保健師・看護師・栄養士が健康相談や栄養相談を行うほか、体脂肪・骨密度・肺年齢の測定なども行っている。地域住民との交流を通じて、健康意識の向上に努めた。

透析患者さま送迎バス増車

玄々堂君津病院と坂田クリニックに通う透析患者さま向け送迎バスを増車した。

車両台数が5台となり、送迎ルートも鋸南町から木更津市内までのエリアの送迎ができるようになり、150名を超える患者さまの透析治療通院送迎が出来るようになった。

坂田クリニック改修工事

関連施設である坂田クリニックで改修工事が始まった。

患者さまに快適な空間を提供できるように、1階の待合室やロッカールームなどを中心に改修し、患者さまに気持ちよく使っていたただけのように工事を進めている。(関連記事3面)

研究発表会開催

看護研究発表会

3月2日(日)新館大会議室において看護研究発表会が開催されました。この発表会は、看護職員全員を対象に毎年行われていたもので、それぞれの職種が日常業務の中で体験し



☆看護助手が行う清潔ケアの成功体験
4階病棟ナースエイド 岩下幸子
☆術後症状安静を経験した患者が看護師に求める災害時のニーズ 鍛 有桂
3B病棟看護師
☆職員の病棟パトロール前後の5S活動への認識の変化
—5Sしつけにつなげるため—



2階病棟看護師 板垣 由香
【第2部】
☆慢性呼吸不全終末期患者の存在を支えるスピリチュアルケア
—感謝の往還よ“ケア”という水平な援助関係—
2階病棟看護師長 加藤 久美子

栄養士さんに聞く

糖質制限とカーボカウント



私たちが食事をする時、血糖値が上がります。食事には様々な栄養素が含まれていますが、3大栄養素である、「糖質(炭水化物)」、「脂質」、「たんぱく質」が、血糖値の上昇に大きく関係しています。

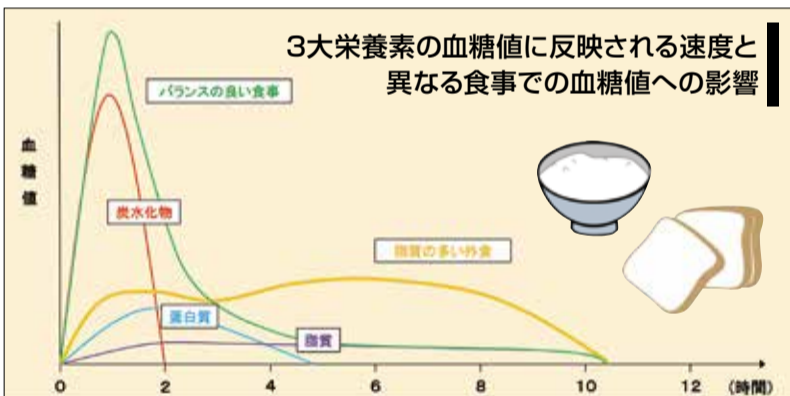
実際には、どのような食品を、どのように、どのくらい食べるかによって血糖値の上昇は変わってきます。グラフは、3大栄養素によって血糖値上昇がどのように異なるのか、また、バランスの良い食事の場合、脂質の多い外食(食事)の場合

☆フットケア外来の運営上の問題に対する解決策の実現
—ナース主導のフットケア外来を目指して—
放射線科 森 栄子
☆医療被曝低減施設認定取得3年目の取り組み報告
放射線科 古梶宏和
☆e-learningを利用した当院の医療機器管理業務の現状
臨床工学科 山口裕伸
☆ePTFEグラフト血管内移植によるバスキュラーアクセス過剰血流の治療
診療部 大崎慎一



6月21日(土)新館大会議室において、第16回病院研究発表会が開催されました。毎年開かれているこの発表会は、それぞれの専門分野において、研究した成果を各学会や研究会等で発表したものを報告する場となっています。

☆フットケア外来の運営上の問題に対する解決策の実現
—ナース主導のフットケア外来を目指して—
放射線科 森 栄子
☆医療被曝低減施設認定取得3年目の取り組み報告
放射線科 古梶宏和
☆e-learningを利用した当院の医療機器管理業務の現状
臨床工学科 山口裕伸
☆ePTFEグラフト血管内移植によるバスキュラーアクセス過剰血流の治療
診療部 大崎慎一



での血糖値の上がり方の違いを示しています。ご覧の通り、栄養素別ですと食後の血糖値を上げやすいのは、「ご飯パン麺類・芋類などに多く含まれる糖質(炭水化物)」なので、糖質が多く入り、頻度も多くなってしまうと、食直後の高血糖状態が繰り返され、「食後高血糖」を引き起こしやすくなります。一方、たんぱく質は体の中に吸収されるため、糖質に比べて血糖値の上昇作用が弱いことがわかります。脂質は消化に時間がかかるため、食事をして時間がかかり経ってから血糖値を緩やかに上昇させます。バランスの良い食事は血糖値がきれいに推移していきますが、脂質の多い食事になります。

食後高血糖とは、インスリンの働きで低下するはずの血糖値が高いままになってしまいう状態のことです。「かくれ糖尿病」とも言われています。空腹時血糖の測定では発見できないので、注意が必要です。

糖質に着目し、食事に含まれる糖質量を把握して食後の血糖値を管理する方法を「カーボカウント」といいます。摂取した糖質量に応じてインスリンの量を調節することで、血糖値を良好にコントロールすることが期待できます。しかし、糖質の量を把握していれば、他のものは好きなかだけ食べても良い、というわけではないことに注意が必要です。

一方で、食後の血糖値を上げやすい糖質を制限することによって、食後の急激な血糖上昇を抑制する方法を「糖質制限」といいます。ただし、糖質を制限しすぎてしまうと、たんぱく質や脂質が増えすぎてしまうのも問題です。脂質が増えすぎてしまうとエネルギーが多くなって太りやすくなってしまうし、血糖値を良好にコントロールすることが難しくなってしまう。また、たんぱく質が増えすぎてしまうと、腎臓に負担をかけてしまう可能性があります。現時点では、長期的に見た健康への影響は不明なため、日本糖尿病学会では「ま

健康教室開催のお知らせ

— 第10回リハビリ教室 —

日時 平成26年8月30日(土) 14:00~15:30
場所 リハビリテーション室
テーマ 転倒予防は長寿の秘訣!
内容 ①あなたの転倒リスク知っていますか?
②転倒予防は何故長生きにつながるの?
③転倒予防のための運動と住環境
対象 どなたでも参加できます。
申し込み リハビリテーション室にて承ります。会場の都合上、人数は20名程度とさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。当院の診察券をお持ちの方は、お申し込みの際にご提示下さい。当日は、運動しやすい服装でお越し下さい。また、タオルや水分補給用の飲み物をご持参下さい。

— 第108回糖尿病教室 —

日時 平成26年7月26日(土) 14:00~16:00
場所 新館中会議室
テーマ この季節、気をつけたい事
内容 糖尿病療養指導士の資格を持った看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士が、各々のテーマについてお話しします。
☆「糖質制限のお話」
看護師 町田洋子
☆「動脈硬化を防ごう!」~脂質異常症のお薬~
薬剤師 武田美香
☆「夏の食事の注意点」
管理栄養士 高橋友美
☆「夏場の運動で注意すること」
理学療法士 堀田玄
申し込み 外来第2カウンター、及び第3カウンターにて承ります。

だ根拠が限定されているので、極端な糖質制限は推奨しない」との提言をしています。よって、少なくとも糖質のエネルギーは、一日の摂取エネルギーの半分以下にならないように注意する必要があります。

やはり食事はバランスよく食べていくことが大切です。最後にポイントをいくつか紹介します。

①糖質の摂りすぎを防ぐために、麺とご飯、パンとパスタなどといった主食の重ね食いを控えましょう。
②野菜は毎食食べるようにしましょう。野菜を食事の最後にしよう。
③おかず(肉や魚など)を食べ過ぎないようにするために、一食につき一品を目安にしよう。
④食事はゆっくり、よく噛んで食べるようにしましょう。満腹感が得られ、過食を防げます。



腎センター 便り

総合腎臓病センター センター長 大崎 慎一



手のしびれと血液透析について

こんにちは。総合腎臓病センターの大崎です。今日は透析としびれの話をします。手のしびれや痛みはよくある事ですね。腎不全や透析の方に限らず、糖尿病や体調不良などでも手足のしびれというものは出てきますが、特別な病気ではない場合がほとんどです。体調不良から来るしびれが多いのは、両手と両足の靴下や手袋を履く部分にしびれ感が多発するもので、多発神経炎と言って不

快ですが、重大な事にはなりません。治療としてビタミン剤を飲んでいますが、決定的な治療はなだりませんが、決定的な治療はないので数ヶ月続く場合もあります。一方で、歩行障害などを伴う両側性の足のしびれは、脊髄管狭窄などの脊椎の病気や、神経の病気の時もあります。また、二カ所だけにしびれが出た時にも、きちんとした診断が必要です。私はある時、元気で病気の無い患者さまが、片足のしびれが主訴で来院し、検査をしてみたら脳腫瘍だったという経験があります。足の指のしびれなどは、健康な人にもよくある事ですが、この方の様なまじめなケースもありますので注意が必要です。

「透析患者さまの手のしびれ」

さて、ここは総合腎臓病センターのコラムなので、あえて透析の患者さまに特有のしびれにしてお話します。

まず、しびれがあったら、両手かそれとも片手のしびれか、片手であれば、シャントのある手かどうか、さらに、しびれている領域を確かめましょう。両手両足であれば、先程のように多発神経炎が多いですが、片手の場合は、次のような病態を考える必要があります。



① 手のしびれと血液透析について

親指の付け根のあたりがしびれる事があります。これは、シャント手術で皮膚の下に細い神経が切れたことによるものです。重大な事にはなりません。不快な症状が数か月から数年続くことがあります。神経が回復するのを気長に待ちましょう。

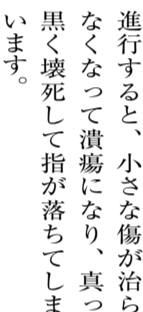
② 手のひらだけがしびれる手根管症候群

しびれや痛みが手のひら側だけで、小指には異常がない時は、手根管症候群が疑われます。これは、長く透析を受けられていると、充分に取りきれない特殊なタンパクが手首のじん帯に蓄積して分厚くなり、結果として正中神経を圧迫してしびれしてしまう病気です。病状が進行すると痛みを伴いますし、筋肉も委縮してきます。透析中や寝ている間に手の痛みが増強する場合は、手術で分厚くなったじん

帯を切ると改善します。術後はこのタンパクを取り除く吸着療法を透析中に並行して行う事が出来ます。

「血流障害は危険」

しびれが手の甲や手全体の時は、手の血流障害が心配です。シャントがある手の場合は、さらに疑われます。ステイル症候群といいますが、指先に行く血液がシャントに奪われてしまう病態です。放置すると痛みも出現し、手が冷たくなったり、紫色になったりします。さらに進行すると、小さな傷が治らなくなったり潰瘍になり、真っ黒く壊死して指が落ちてしまいます。



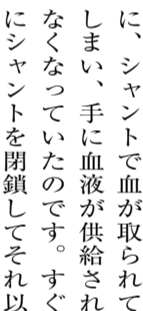
「ステイル症候群は、手に行く血管が動脈硬化で閉塞や狭窄をおこしている場合や、過剰血流と言ってシャントが必要以上に流れている場合に見受けられます。ただし、軽症の場合にはしびれ以外に症状がないため、医師が見ても診断が難しいのです。さらにシャントの流れも良い場合が多いので、透析の妨げにもなりませんから、透析ス

タッフも気がつきません。手のしびれや痛みが続く時には、患者さまからスタッフに声をかけてください。当院透析室では、SPP(皮膚還流圧)という検査で指の血流を直接診断でき、HD02という機器で過剰血流の有無を判定でき

ます。さらにエコーで肘から先の動脈の流れを観察したり、カラードップラー法で血液の逆流を検査してステイル症候群の診断をしています。

「ステイル症候群を放置すると危険です」

その患者様は、以前からシャント側の指が痛かったのですが、あまり気に留めておられなかったようです。指の色が悪いと連絡を受けて診察してみると、指が1本壊死して切断が必要な状態でした。動脈硬化で血管が細いうえに、シャントで血が取られてしまい、手に血液が供給されなくなっていたのです。すぐにシャントを閉鎖してそれ以上の進行は止まりましたが、もっと早く診断がついていれば指を落とさなくて済んだかもしれません。この様にしびれの時点での早期発見は、とても重要です。



「しびれは原因が重要」

しびれは多くの場合、放置しても問題はありませんが、治療方法もありません。しかし、原因によっては重大な事になる事がお分かりいただけましたか。大切な事は、初めてしびれが出た時に、原因としての重大疾患を否定しておく事です。透析領域では、まず血流障害の有無を確認する事が大切です。

「しびれの原因は、多くの診療科(こたな)」

皆さん、しびれの原因は、透析特有のものから整形外科疾患、血管外科疾患、神経内科疾患、脳外科疾患、代謝疾患、自己免疫疾患：と様々な

坂田クリニック改修工事について

坂田クリニックは、9月の完成を目指して現在改修工事中です。

工事の間、患者さまには多大なご迷惑とご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をいただき、大変感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

今回の改修工事は、患者さまのアメニティ向上を第1の目的に、建築家の飯沼竹一氏に設計依頼し、1階フロアと2階の一部を改修します。

まず玄関には、車いすが入りやすいようにスロープを設置、1階待合室には、食事も出来るような広いスペースを設けました。更にロッカールームもリニューアルされ、少しでも患

診療科にわたります。多くの場合は軽症ですが、まれに重大疾患が含まれます。しびれや痛みは、患者さまが訴えない限り誰にもわかりませんので、以上を参考にしてスタッフに相談してください。

歩廊完成予想図



待合室完成予想図



者さまが使いやすい、気持ちよく待ち時間を過ごしていただけるように考えました。

2階は車いす対応トイレの設置や透析室内もスタッフの仕事の効率アップを考えて、一部改修します。

また、今回の工事に伴い、レントゲン室と心電図室がなくなるため、検査が必要な場

合は、君津病院で検査を行うようになります。平成10年に開設し、年月の積み重ねにより、施設内のあちらこちらに疲れが見え始めていますが、今回のリニューアルで、さらに10年20年と、透析患者さまに気持ちよく利用していただけるようになると考えておりますので、完成を楽しみにして下さい。

坂田クリニックは、9月の完成を目指して現在改修工事中です。工事の間、患者さまには多大なご迷惑とご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をいただき、大変感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

南大和病院との合同会議を行いました。



総合腎臓病センターでは、4月より南大和病院透析センターとの合同会議を始めました。

同じCKD治療を行っている者同士が交流を図り、知識や技術を共有し、各々の施設での治療に活かすため、毎月開催している総合腎臓病センター会議、血液浄化部診療検討会の2つの会議を合同で行っています。

毎月の会議では、各施設の状況報告や、CKD治療に関する情報交換等、毎回活発な討議が行われており、さらにより医療を提供できるセンターづくりをするため、頑張っています。

新入職員歓迎ハイキング 永年勤続者表彰

- | | | | | |
|------------|-------------|----------------|----------------|------------|
| 福原 華世（看護師） | 田崎 由希子（看護師） | 鈴木 伊亜梨（臨床工学技士） | 鍛田 拓弥（ナースエイド） | 鈴木 茉友（事務員） |
| 高木 舞（看護師） | 石渡 寛子（看護師） | 岩崎 里穂（臨床工学技士） | 石井 美穂（ナースエイド） | 沢口 真紀（事務員） |
| 岩田 彩花（看護師） | 西脇 千亜希（看護師） | 須藤 貴大（作業療法士） | 榎沢 規子（ナースエイド） | 井上 亜希（事務員） |
| 徳島 美咲（看護師） | 藤井 京子（看護師） | 荻野 悟（管理栄養士） | 渡辺 咲（クラーク） | 齋藤 恵（保育士） |
| 前田 寛美（看護師） | 沼里 亜季（准看護師） | 宮崎 真紀（調理員） | 西口 まこ（診療情報管理士） | |



4月1日24名の新入職員を迎え、新年度がスタートしました。
5月18日には、恒例の新入職員歓迎ハイキングが行われ、ゴールの
マザー牧場で永年勤続表彰式を行いました。

平成26年度 永年勤続表彰受賞者

30年表彰



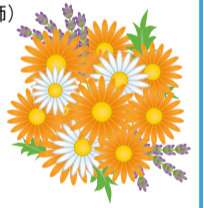
渡部 和子（看護師）



20年表彰



加藤 久美子（看護師）
木村 純子（看護師）
大友 タミ子（看護師）
田畑 小百合（准看護師）



10年表彰



大胡 さやか（看護師）	松田 良子（クラーク）
榎本 貴子（看護師）	山岸 みさえ（ナースエイド）
近藤 紗由（看護師）	江澤 真理子（ナースエイド）
丹野 洋美（看護師）	村上 浩子（事務員）
武田 真弓（看護師）	山口 愛子（事務員）
高橋 久美子（看護師）	大野 由紀子（事務員）
萩原 桂（看護師）	加藤 恵子（保育士）
渡邊 里絵（看護師）	鈴木 雪恵（保育士）
石和田 直人（放射線技師）	

活動1000時間達成



今年の2月22日に、ボランティアの大野トミ子さんが、活動1000時間を達成しました。
大野さんは、当院でボランティア活動を始めて11年目となり、1000時間達成は4人目となります。
院内のあちらこちらで活躍している車



椅子の荷物入れや、資料を運ぶ際に使用するトートバック等多くの物を作っています。
待合室に飾っているつるし飾りは、抜群の器用さで、細やかな作品の数々を仕上げられています。



最後にげんげんどうかがやき保育所の子供達が登場すると、会場から大きな拍手が鳴り響き、患者さまをはじめ来場の皆様と和やかな時間を過ごしました。

七夕の笹を飾りました

6月21日に七夕の笹飾りを飾りました。
ボランティアさん手作りの飾りが結ばれた8本の笹は、外来や各病棟に飾られ、患者さまやご家族さまの願いが込められた短冊をしっかりと支えてくれました。
7月5日（土）には、外来待合室で七夕コンサートを開催しました。
今年は地域のボランティア団体「どんぐり劇団」や栄養科職員が出し物を披露し、

▼有言実行しました！次は筋トレ頑張ります！(〇)
▼異常気象が多いけど、ほどほどが一番。天の神様！今年の夏お手柔らかに願います。(わあい)
▼今年も二の腕禁止令発動！（瘦せたgirl☆）
▼異常気象 朝は晴天、ゲリラ豪雨に泣かされる…
▼飛び交う虫を見ながら、しばしばーっとしてしまいました。(ぜっとな)
▼「生ビール冷えます！」という言葉にテンション上がる季節の到来です！(LDH)
▼早くも半年が過ぎてしまいました！(てつ)
▼今年こそ、期限を守って仕事をしたいと誓いましたが、総崩れの私…後半は頑張ります。(あぶくん)
▼初めての新聞：これからは頑張ります。ダイエットも！(バスケ好き)

編集後記

診察予約専用番号

当院では予約制で診察を行っております。
当日に受診希望の方も診察の予約が必要で、診察をご希望の際は事前に「予約専用番号」までご連絡ください。予約変更もこちらで受け付けております。

※時間帯により混雑の為、大変繋がりにくい場合がございます。
※受付時間外の対応は致しかねますのでご了承ください。
※救急・急患の場合は代表番号にご連絡ください。
代表番号 0439-52-2366

受付時間
午前9時～午後4時
※月曜日～土曜日（日曜、祝日は除く）

予約専用番号
0439-52-7068